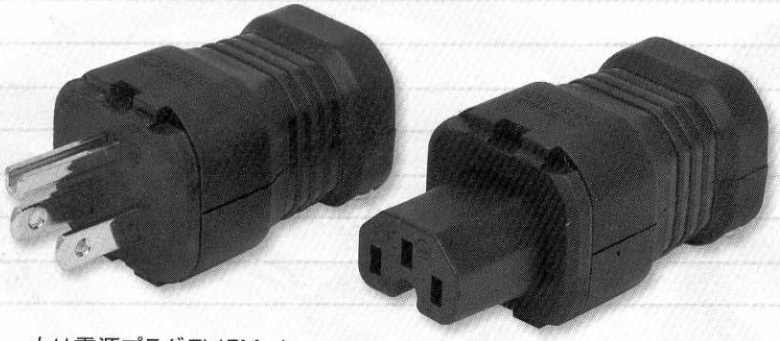
MJ REPORT
フルテック

FI-15 plus

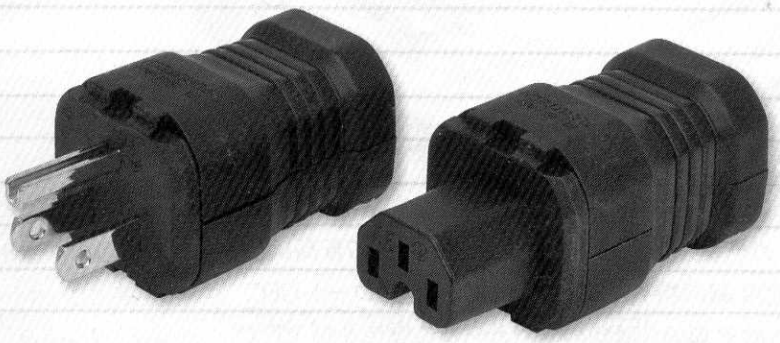
ロジウムメッキ　¥5,040
24K 金メッキ　¥4,515

【電源プラグおよびACインレットプラグ】



左は電源プラグFI-15M plus (G)，右はACインレットプラグFI-15 plus (G)．いずれも金メッキ仕様

ボディは中央で2分割でき，ケーブルの接続作業は容易．ボディを閉じるとネジがアースされるしくみ



左は電源プラグFI-15M plus (R)，右はACインレットプラグFI-15 plus (R)．いずれもロジウムメッキ仕様

フルテックは今年で，創立25周年を迎える．古河電工のPCOCCケーブルを海外で販売することから始まり，やがてケーブルに不可欠のコネクター類を開発することによって世界的に知られる存在となった．

中でも電源コネクターおよびインレットFI-15M/15は，同社を代表するロングラン製品である．現在ではFI－50などさらにハイグレードなモデルも開発されているが，フルテックの名を著名なものとしたのはFI－15と言っていい．その意味でも同社にとって特別な存在であり，本品はリファインを施されて25周年記念モデルとなったものである．

フルテックの電源パーツには，もともと大きな特徴がある．アースジャンパーと呼ばれる機構がそれで，ボディの電位をアースに落とす手法だ．

一般的なコネクターではボディがフローティング状態であるため，これを誘電体として外部への輻射を生じている．アースジャンパーはボディの電位をアースに落とすことで輻射を排除する機構で，オリジナルのFI-15にも使用されているが，新しいFI-15plusではボディの固定ネジからグラウンドピンにスプリング状の導体が伸びて接触する，よりスマートで確実な方法が採用された．

もうひとつこのモデルでは，導体の接続部にワイヤーロッキング機構という新しい形状を取り入れている．ケーブル導体を挟む取り付け部を平面ではなく太鼓状に丸みを持たせ，凸型ベースと凹型ナットで強力に締め付けることで，きわめて効率的な接触が保たれる．通常の平面型より接触面積は17%以上拡大するという．

このほか電極部はα処理による純銅製で，非磁性体ロジウムまたは金メッキが施されている．またボディの開口部は内径を折り取ることができ，ケーブルの太さに合わせて確実な保持が可能である．

同じ電源ケーブルに装着して旧タイプと比べてみると，明らかに信号の流れがよく鮮度が高い．コネクターだけの違いだが，それでこれほど変化が生じるのは目覚しいできごとというべきで，単なるパーツとして軽視することはできない．レンジも上下に非常に広く伸び，ディテールの情報量も格段に増える．目を見張る効果である．（井上千岳）

〈資料請求先〉
フルテック株式会社 MJ1係
〒141-0031　東京都品川区西五反田 7-11-1
第五花田ビル 3F
TEL 03-5437-0281(代)　http://www.furutech.com/